

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 50

学校名・団体名	白川町立黒川小学校
HPアドレス	http://kurokawasyo.town.shirakawa.gifu.jp/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	ふるさと黒川の自然・伝統文化を発信する学校づくり
〈活動・研究の意義、目的〉 黒川小学校は、加茂郡の山間部にあるへき地小規模校である。学校所在地である、白川町黒川は、豊かな自然環境に囲まれているとともに、古くから地域の伝統文化である歌舞伎が引き継がれていることでも、その名前が知られている。 特に、明治時代から続いている歌舞伎は、現在、歌舞伎小屋の東座にて5月中旬に上演されている。現在は、本校の小学校6年生全員が歌舞伎に出演し、地域文化の伝承の一役を担っている。また、その一方で、黒川地域には登山ができる山、溪流釣りができる黒川があり、さらには、お茶をはじめとする農作物の生産も盛んである。 そこで、豊かな自然と伝統文化への理解と愛着を深めるとともに、黒川の自然と伝統文化を進んで発信し、大人になっても「黒川を大切にし、黒川で暮らしたい」という気持ちを強くもった、心豊かな児童の育成を目指した教育活動を、地域とともに積極的に展開したいと考えた。	

1 はじめに

毎年、本校のある黒川地域では、5月の第三日曜日に、歌舞伎小屋「東座」で「ふれあい公演」が実施される。この公演には、本校の6年生児童全員が出演している。

そこで、今年度から、総合的な学習の時間に、歌舞伎に関する内容を新たに組み込むこととし、歌舞伎に関する学習活動を展開してきた。そして、今回助成を受けて購入したiPadやデジタルカメラの活用により、歌舞伎に関する学習を充実させることができた。



東座ふれあい公演の様子から

2 歌舞伎に関する学習での活用について

主となる歌舞伎に関する学習においては、児童自らがiPadを活用して、歌舞伎に関する取材活動や調べ学習を行い、地域の伝統文化に関する理解を深めた。

また、歌舞伎指導者の講話や演技指導の様子を撮影したり、児童自らの演技を互いに撮影したりし、客観的に自分の演技の課題を克服して、自信をもって演技をすることができるようになった。

特に、6年生から5年生へ歌舞伎の引継ぎを位置付けたことにより、次年度の歌舞伎上演への意欲を高めることができた。iPadによる動画撮影は、見学時の講話内容の記録、歌舞伎の演技を客観的に確認でき、児童にとってたいへん有効であった。また、歌舞伎の動きをタイミングよく撮影できる一眼レフカメラは、不可欠な機器である。



6年生から5年生への引継ぎ会



歌舞伎保存会の方からの講話
歌舞伎の歴史等を直接聞いた。



歌舞伎小屋「東座」の見学
iPadで講話内容を記録した。



学習発表会に向けた練習
「白波五人男」の練習をした。

3 各教科等での活用について

歌舞伎での活用以外では、算教科をはじめとする教科学習においてもiPadを積極的に活用し、へき地小規模校である本校の児童が、自信をもって学習活動に取り組むことができた。

また、体育科のマット運動や課外で行った8の字跳びでは、客観的に自分の運動の様子を動画で確認しながら学習を進めることができた。中でも、8の字跳びにおいては、岐阜県内の小中学校がエントリーする「チャレンジスポーツinぎふ」の「8の字跳び（3分間）」の部で、4つの学年が県内1位、他の学年も4位以内にランクインするなど、取組の成果を上げることができた。

その他、中学年・高学年の総合的な学習の時間における調査活動や言語活動・表現活動においても、児童が積極的にiPadを活用することができた。



4 実践の総括と今後の実践

黒川の伝統文化の歌舞伎について、歌舞伎について調査したり歌舞伎を演じたりする体験をとおして、歌舞伎の継承活動に主体的に参加する態度の向上を図ることができた。また、iPadを教科や総合的な学習の時間で活用したことで、児童自らのICTのスキルアップや、効果的な機器活用の在り方について、児童と教師とで追究することができた。

本校では、学校の教育活動の様子を、WEB上のブログを使って毎日更新している。その中に、歌舞伎に関する学習やiPadを活用した実践等についても、積極的に掲載してきた。今後も、今回の助成を受けて導入したICT機器等を各教科等で積極的に活用し、その実践については、継続的にWEB上で公開していく。